

川崎区の役立つ**福祉情報**をお届け～

ウェーブ

平成 28 年 2 月

第 95 号

目次

- 1 川崎市老人いこいの家 教養講座について
- 2 共同募金運動にあたたかいご協力ありがとうございました！
年末たすけあい運動配分事業
賛助会員募集結果の報告
- 3 あなたの身近な地区社会福祉協議会の活動等紹介
・中央第一地区社協 ・中央第二地区社協
・渡田地区社協 ・大師第一地区社協
- 4 大師第二地区社協 ・大師第三地区社協
- 5 大師第四地区社協 ・田島地区社協
- 6 大島地区社協 ・小田地区社協
- 7 「川崎区社協福祉まつり」開催報告
子育て支援講座 およこヨガ
譲ります・譲ってください
ほほえみコーナー

川崎区社会福祉協議会福祉バルかわさき

発行 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 福祉バルかわさき
川崎市川崎区日進町 1-11 川崎ルフロン 8 階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741 Email info@kawasakikushakyo.or.jp
川崎区社協ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>



【発行人】
富田 順人
【編集人】
編集委員会

イメージキャラクター
ウェブくん



「川崎市老人いこいの家 (通称 いこいの家)」教養講座について

いこいの家は中学校区に1館あり、現在川崎区内に9館あります。
ご利用できる方は、ご自身で来館できる方で、川崎市内在住の60歳以上の方です。
教養講座は、いこいの家を知っていただき、仲間づくりとともに、楽しみながらご参加いただいています。講座は原則1年間継続して行われます。また、受講料は無料ですが、一部材料費がかかる場合があります。
教養講座は、新しい方にも参加しやすいように、参加方法を以下のようにします。
①毎年2～3月中に教養講座参加者を募集します。
②3月に参加者を決定します。応募者が多数の場合は、抽選により決定します。

皆様にふるってご参加いただき、
交流を持ちながら
元気に住み慣れた地域で
楽しんでいただきたいと思います。
なお、お申し込みは
各いこいの家までお願いします。

平成28年度	平成 27 年 12 月現在	教養講座				入浴事業
教養講座1	教養講座2	教養講座3	教養講座4			
大師 ☎ 277-7979 大師公園 1-4	パソコンで遊ぼう会 ◇第1・3水曜日 10:00～ ◇定員:10	書道 初級 ◇第2・4水曜日 10:00～ ◇定員:10	ストレッチ体操 ◇毎週火曜日 10:00～ ◇定員:25		男性…金曜日 女性…水曜日	
小田 ☎ 344-3387 小田 2-16-9	ねんどアレンジ ◇第3月曜日 10:00～ ◇定員:10	ぬりえ ◇第1・3木曜日 13:00～ ◇定員:20			男性…月曜日 女性…金曜日	
藤崎 ☎ 222-7773 藤崎 4-17-6	中国体操 練功法 ◇第1・3月曜日 14:30～ ◇定員:20	健康体操 ◇第2・4木曜日 11:00～ ◇定員:30	大人のぬり絵 ◇第2・4水曜日 10:00～ ◇定員:10		男性…木曜日 女性…火曜日	
田島 ☎ 366-2811 田島町 20-23	書道教室 ◇第1・3月曜日 10:00～ ◇定員:14	体操教室 [竹の会] ◇第1・3金曜日 10:00～ ◇定員:30	手芸教室 ◇第1・3水曜日 10:00～ ◇定員:12	輪おどり教室 ◇毎週火曜日 13:30～ ◇定員:30	男性…木曜日 女性…火曜日	
大島 ☎ 233-8867 大島 1-9-6	社交ダンス 初級 ◇第1～4月曜日 13:00～ ◇定員:20	練巧体操教室 ◇第1～4木曜日 10:00～ ◇定員:15	手芸教室 ◇第2・4木曜日 13:00～ ◇定員:20		実施なし	
桜本 ☎ 277-5125 桜本 2-5-2	ひまわり体操 ◇第2木曜日 13:30～ ◇定員:20	中国体操 ◇第2・4火曜日 10:00～ ◇定員:25	大人のぬり絵 ◇第2・4水曜日 13:00～ ◇定員:20	ストレッチの会 ◇第1・3水曜日 13:30～ ◇定員:25	男性…金曜日 女性…水曜日	
京町 ☎ 344-0184 京町 3-12-2	パソコン ◇第1・3土曜日 10:00～ (1・8月のぞく) ◇定員:10	ちぎり絵 ◇第1・3月曜日 13:00～ (1・8月のぞく) ◇定員:10	習字 ◇第1・3月曜日 10:00～ (1・8月のぞく) ◇定員:11	練功体操教室 ◇第1・3火曜日 10:00～ (1・8月のぞく) ◇定員:15	男性…金曜日 女性…水曜日	
渡田 ☎ 366-4075 渡田 4-12-20	大正琴 ◇第1・3金曜日 13:00～ ◇定員:12	手芸 ◇第2・4月曜日 13:00～ ◇定員:15	体操 (ばら) ◇第1・3水曜日 10:00～ ◇定員:20	体操 (ゆり) ◇第2・4木曜日 10:00～ ◇定員:20	男性…火曜日 女性…木曜日	
殿町 ☎ 287-9108 殿町 1-20-15	大人の塗り絵教室 ◇第1・3火曜日 13:00～ ◇定員:20	パソコン教室 初級 ◇第2・4金曜日 10:00～ ◇定員:10	パソコン教室 中級 ◇第2・4金曜日 13:30～ ◇定員:10		男性…月曜日 13:00～ 女性…月曜日 11:00～	

共同募金運動にあたたかい ご協力ありがとうございました!

今年度も、多くのご協力をいただき、10月1日より共同募金運動を実施いたしました。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区内の地域福祉活動のために大切に使用させていただきます。地域の皆様のアたたかいお気持ちに深く感謝申し上げます。

募金種類	赤い羽根募金実績額	年末たすけあい募金実績額
戸別募金	13,310,151 円	10,510,060 円
法人募金	1,434,235 円	
街頭募金	1,118,068 円	90,965 円
校内募金	290,521 円	
職域募金	728,043 円	71,818 円
イベント募金	24,591 円	0
その他の募金	157,223 円	0
合計	17,062,832 円	10,672,843 円

平成 27 年 12 月 31 日現在

川崎フロンターレから
ふるん太も応援に
来てくれました!



川崎区内の
駅・商店街等で
街頭募金を
行いました!

年末たすけあい運動配分事業

年末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として 12 月 1 日から 31 日まで実施され、今年も区民の皆様から多くの募金をいただきました。厚く御礼申し上げます。

本会では、区民の皆様からご協力いただいた年末たすけあい募金を有効に活用するため、配分方法を考慮し、生活支援が必要な方へ支援金としてお配りするほか、本会が実施する事業を通して地域福祉のより一層の充実を図っております。

今年度もご協力いただいた募金の中から支援金を申請された世帯へ 12 月から 1 月にかけて民生委員の皆様のご協力を得てお配りいたしました。

【配布世帯数 491 件】

また、支援金としてお配りした以外の募金は翌年度に本会が実施する事業（右表）に活用させていただき、地域のみなさまに対する支援活動を展開してまいります。

項目	具体的事業
ボランティア活動振興事業	ボランティアセンター事業費（ボランティア派遣の調整、ボランティア講座等の開催、情報紙の発行、ボランティアグループ・団体の支援等）
障害者支援事業	障害者支援講座等の開催
福祉用具貸出し事業	車いす貸出し事業（保険料、修繕費等）、高齢者疑似体験グッズ貸出し事業
キャビネット貸出し事業	福祉活動団体のキャビネット貸出し事業に伴う事務費
助成事業	地域で当事者や介護者を対象とした支援事業等の活動をしている団体やグループへの支援及び子育てグループ等への支援
小地域福祉活動支援事業	高齢者ふれあい活動支援事業
在宅福祉推進事業	食事サービス交流会の開催
企画広報事業	ホームページ等を用いた区社協情報の提供、福祉まつりの開催、「ウェブ」の発行
支援金配分実施事業	年末たすけあい運動の「支援金」配分事業実施に伴う事務費

賛助会員 募集結果の 報告



ご賛同いただいた賛助会費額
(平成 27 年 12 月 31 日現在)

8,107,800 円

今年度も、社会福祉協議会が行う事業や福祉活動に対し多くの区民の皆様から、ご協力・ご賛同をいただきました。深く感謝申し上げます。

なお、ご協力いただきました賛助会費の約 7 割は各地区社会福祉協議会による福祉事業（広報誌の発行、講演会の開催、高齢者ミニデイサービス事業、高齢者の会食会等）に、約 3 割は区社会福祉協議会による福祉事業（区社協組織運営、車イス等福祉用具貸出、区社協情報誌「ウェブ」の発行など）に活用させていただきます。

あなたの身近な



地区社会福祉協議会の活動等紹介



中央第一地区社協

みなとちょう

港町の由来と美空ひばりの

みなとまち

「港町十三番地」

中央第一地区民生委員児童委員協議会会長 梅津 三枝

京 浜急行大師線港町界隈を訪れる人々から「港町」という駅があるが港の姿はどこにもない」と言われることがあります。そして「なぜ港がないのに港町というのか」とよく聞かれます。

江戸時代には木材で家を建設していましたが、火事も多く、そのため材木も頻繁に運ばれ、港が形作られていきました。そして、明治時代には、材木を奥多摩からいかだに乗せて多摩川で運んだため港が活用されていきましたが、今はその面影はありません。

美空ひばりさんのヒット曲「港町十三番地」は小説家の石本美由紀さんが、イメージしたものです。発売元のコロンビアレコード会社の工場が駅前にあり、地名の港町のイメージを重ねて詩をつくり、番地も語呂のよさから「十三」になったそうです。駅名も1932年に「コロンビア駅前」として開業したそうですが、1944年に現在の駅名「港町」に改称されました。さらに、2014年3月にリニューアルされた駅舎に合わせ改札口に歌碑が設置され、美空ひばりの等身大の写真があらわれ、ボタンを押すと歌が流れます。ぜひ、皆さん昔を懐かしんで訪れてみてはいかがでしょうか。

中央第二地区社協

川崎西部まちづくりクラブ & 東海道川崎宿 2023

理事 石渡 稔也



よる緑化や公園活用を推進し、花のある憩いの場を増やす。(三)川崎西部魅力アップとして地域の歴史や魅力を再認識し住んでいる事に誇りがもてる地域愛を育てる。具体例として今春、八丁畷にある「無縁塚」の再整備工事が完了

します。是非ご覧ください。(四)安心・安全に住める地域を共に支えながら実現する。

東海道川崎宿2023
に参加して思う事

七年後の2023年に川崎宿は起立四〇〇年を迎えます。川崎に位置する東海道は六郷から砂子町までは「あつこ」が東海道か」というイメージで道も整備されてきましたが、その先の小土呂橋を渡った小川町から市境の下並木まで(通称・八丁畷)は整備が遅れ「えっここが東海道だったの」というイメージを払拭する為に870mの市道を整備し歴史的資源としての価値を高め誰もが楽しく歩きたくなるような道づくりを行政に期待

します。

私

は現在、地区社協の広報部・川崎西部まちづくりクラブ・東海道川崎宿2023メンバーの一員として活動させて頂いております。その活動を通じて地域住民の方との「きずな」の大切さを感じているところです。

「川崎西部まちづくりクラブ」では、こんな街にしたいと四つのビジョンをかかげ活動しています。(一)バリアフリー化や交通・道路の改善などで歩行者にやさしい街並みをつくる。(二)地域に

渡田地区社協

スポーツを通し 地域に誇りと愛着を

青少年部長 飯塚 幸男



渡 田地区社協は九町内会で構成され、社協専門部は〔総務部、広報部、青少年部、障害者福祉部、老人福祉部、乳幼児福祉部、女性部〕の七専門部で組織され各部活動しています。青少年部の活動は小学生を対象とした、ボウリング、野球、テニスボールそして羽根つきの四大大会を開催しています。各大会を通して感じることは、子ども達の喜怒哀楽の表情の豊かさ、動作、そして素直な姿です。また、視点を変えてみると、子ども達の体力・運動能力については、敏しう性は向上する傾向が見られるが、瞬発力、筋力、持久力、柔軟性は低下傾向にあるといわれています。これは塾や自宅での勉強に時間をとられ、また、テレビゲームなど室内遊びのため、運動の機会が減少していることに起因していると思います。スポーツは青少年の心身の健全な発達を促します。スポーツに接し楽しむことは、子ども達の体力増進、運動能力向上に寄与します。社協青少年部も地域子ども育成会と協力してスポーツを通し、子ども達の成長の一助として、微力ながら地域社会に貢献する所存です。



大師第一地区社協

伊勢町町内会 における リーダーシップ

副会長 野村友次

私

の住む伊勢町は、世帯数13502700人で、立地的には駅・病院・幼稚園等が近くにあり便利な町で若い人も多いのですが、この人たちの多くが町内会に加入していません。町内住民の町内会加入者の多くが、マンション住まいの人と戸建て住民の人たちで構成され、その99.9%の人たちが町内会に加入しています。私たち町内会には7事業部があり各部長さんと連絡して活動しています。特に頑張っている活動の一つ目は、伊勢町公園の一つが昨年起きた少年殺人事件関連現場になったことから、今後犯罪の抑止効果になればと町内に防犯カメラを設置しました。町内会



主導での防犯カメラ設置は、伊勢町が初と聞いています。二つ目は、廃品回収で自らハンドマイクを持って自転車で町内を回り、「廃品回収日のお知らせ」を大きな声で先頭に立って実施しています。しかし町会長としての悩みもあります。①児童福祉や引きこもり老人への福祉活動。②災害時要援護者として未登録の人たちが把握できてない現状。こうした問題にも今後は取り組み、「町内全体が見通せる町内会づくり」、さらに「明るく住みよい、心が通いあう、安心できる町づくり」を目指し、常に先頭に立ち「元気で声の大きな町会長」として頑張っていきます。



(上) 須山令子会長の開会の挨拶 (下) 説明を受ける参加者

大師第二地区社協

カローリング大会

会計 長島 伸好

四

谷小学校の体育館にて、年一回、各町内会・社協委員の他、教職員・区社協職員も参加して、カローリング大会を開催しています。今回で六回目となりますが各チーム三名で作戦を立てて臨みました。一年振りにローラーを手にした方が多かつたようで、上手にいった時はガッツポーズをしたり、外した時はガックリ膝をおとしたり、力を入れ過ぎて、他所へ滑って行ったりと大いに盛り上がりました。

今年もカローリング普及ボランティアの方々のお手伝いを頂きスムーズに終了し、参加者一同、次回の優勝を誓い散会しました。

大師第三地区社協

未来に向かって変貌するわが町

理事 南雲 栄一

私

達が活動する地域の一角に当ります。市を支える川崎港、地域の発展を支えた産業道路、多摩川河口、大師橋をはさんで羽田空港があるという地域です。又、全国に名を知られている川崎大師平間寺を中心に発展して来た河原町だった、ということも地元では当り前の通説です。その証が、担当エリア内にある「大師河原」という地名、町名はついていません。戦後、社会の急速な発展にもなつて、利便性の良い町作りのため、埋立て、工場誘致、学校、病院、そして商店街、現在エリア内には、国家戦略特区として世界の最先端医療の研究開発地域がスタートしました。各国から研究者も沢山来られるだろうし、ホテルも計画され、空港と研究エリアを結ぶ橋も、二〇二〇年、オリンピック開催の年までに



作ろうと、国、県、市、東京都大田区との話合いが進められています。ガンの特効薬、各種難病に対する新薬の開発、iPS細胞の広範囲な利用、今後、五年、十年と研究は続くのでしよう。

さて私達、大師第三民児協は、民生委員十七名、主任児童委員二名、計十九名で運営しています。現代の高齢化社会が注視している一人暮らし、認知、介護、家族間トラブル等を、委員一人一人が、何らかの面で抱えています。むろん守秘義務は守りながら、共有する事例もありますので、情報交換の必要性も、ある程度の事は、いたしかたないと思われれます。特に子ども達のいじめ、非行化、親子関係の複雑化には、考えさせられます。

活動面では、赤ちゃん訪問や、ふれあい会食会には力を入れて、一人でも多くの人達が楽しんでいただく様に努力しています。

会食会では、先輩委員の方々が築かれた活動を大切にしながら季節の味をお届けしております。会後の時間を使って、警察からの注意事項、支援センター、保健婦さんから、日常の体のケア等々をお知らせしています。

高齢化社会は幸齢化社会に変化するべきだと考えています。



大師第四地区社協

地域の歴史『昭和町の今』

副会長 仲子 先一郎

戦

後区画整理が行われ、昭和40年
に昭和1・2丁目になり、昭和
49年に住居表示が施行されて現在に
至っています。

この道筋の微高地には、台町を通る
羽田道が南北に走っており、台町附近
には明治以前から人家が集まっていた
そうです。町の南東部あたりは、低地
であるため人家はまばらでした。

ようやく明治以後になって人家も増
え、農家も40軒ほどになり、海苔養殖
や梨の栽培・麦・玉ねぎ等の畑作を営
んでいましたが低地の為、常に水害に
悩まされました。

そして大正6年の水害以後は、梨・
桃のような手間がかからないでお金に
なる無花果(いちじく)に目が向けら
れ、昭和町・江川町・殿町等でも無花

果栽培が盛んになりました。

また大正11年の多摩川の改
修工事の新堤外の土砂を昭和
町等の低地に運び、土盛りを
して平らになりました。

現在昭和1丁目のほぼ中央
には、生鮮食品店が並ぶ昭
和通り商店街があり住民の台
所を賄っていました。この
数年スーパー等多くなったた
めか店を閉める数が多くなっ
てきています。

田島地区社協

臨港中学生の夏休みは豪華体験版でいっぱい!

臨港中学校区地域教育会議
事務局長 宮越 隆夫

平

成15年に読売教育賞/最優秀賞
を頂いた「中学生の夏休み地域
体験活動」、今年で17年続きました。学校と
地域の皆さんのご協力の賜物です。

まずは職業体験学習。地域内外の受入先50
カ所。JFE、職業技術校、保育園、病院、
そば屋さん、農園、消防団、お大師さんと多
種多様の行先に220人の生徒が希望体験し
てきました。

そして町内会のお祭り参加。盆踊り会場で
の笑顔いっぱいのおよこしソーランの演技。
おみこし渡御でも元気いっぱいにおみこしを担
いでくれました。参加150名。

体験が終わった後に生徒は校長室でアン
ケートを書きます。そこにPTAのお母さん
たちがお茶を用意して待っています。校長室
は大きな「一家だんらん」場となります。感
想に「地域の人たちをもっと笑顔にできるよ
うにしたい」「何でもいからボランティアに
参加したい」という言葉もありました。

さらに東北被災地へのボランティア。今年



で4回目になります。生
徒9名、地域の先生合わ
せて炎天下の中、宮城県
の被災地で草刈、清掃作
業をがんばりました。中
学生の働きぶりに先方の
方から感動という感謝の
言葉もいただきました。
2泊3日の貴重な体験は
この子たちの一生の宝物
になったようです。文化
発表会で防災の大切さを語ってくれました。

豊かな体験は若い人たちの心の栄養となっ
ていることでしょう。同時に、中学生の笑顔
とパフォーマンスが地域の人たちにおおきな
元気を提供してくれました。

私たちの地域では、昨秋以来、福田市長
提唱の「地域の寺子屋」の事業も行っていま
す。毎週水曜日の放課後大島小学校と、渡田
小学校で子どもたちの勉強に地域の人が寄り
添う学習支援と、毎月一回学校のお休みの日
に、体験活動・世代間
交流をやっています。

少年非行事件でも
指摘されました子ども
たちと大人のコミュニ
ケーション不足。私た
ちはいま改めて日頃の
活動の大切さを感じて
いるところです。





今年も、5町会参加して向小学校にて、年2回、春と秋に「小学生野球大会」が開催されました。春は、4月19日に約110名が参加した「春季小学生野

球大会」が開催されました。春は、4月19日に約110名が参加した「春季小学生野

球大会」が開催されました。春は、4月19日に約110名が参加した「春季小学生野

大 島地区社会福祉協議会では、七つの部会は、「婦人部会」「民生児童部会」「老人部会」「母親クラブ部会」「保護司部会」「広報部会」そして「青少年部会」です。

「青少年部会」は、こども育成・補導部、スポーツ推進委員、青少年指導員、少年野球監督・コーチ、主任児童委員のメンバーで構成されています。

球大会」が開催され、秋季は9月13日に開催され約115名の参加があり、熱戦が繰り広げられ、結果、優勝は春・秋とも大島3丁目町内会が有終の美を飾りました。

そして、「第14回女子キックベース大会」が予定されていましたが、残念ながら中止となりました。

大島地区社協 青少年部会の活動について

青少年部会長 塩坂 武



小田地区社協 街の発展を願って

副会長 荒金 嘉昭



一般的に社会福祉協議会の役割は、関わる事が無いと見過ごしてしまう、近隣住宅との関係が希薄になりつつある最近の社会状況、その弊害が様々な形で表れています。

子育ての悩み、児童虐待、いじめや少年犯罪、高齢化社会に伴う一人暮らし、高齢者世帯等、生活を営んで行くうえで不安や多くの問題が出されています。このような社会の中でお互いに手を取り合って助け合えたら良いのではと活動しております。

小田地区の中では、民生委員、児童委員が中心となり月一度の子育てサロンを開催、楽しい子育てをとり組んでいます。

また小田地区社協では、町内会連合会と共同し小田地区全体（8町内会）で七〇歳以上の会員（本年度は四三〇〇人）を対象に敬老会を開催しています。町内会毎には一人暮らしの会食交流会や配食サービス等、参加者が生きがいを感じる事が出来るように見守りを兼ねて取り組みが行われています。このように社協の活動全般が地域全体の取り組みとしてさらに理解を深め、発展して行く事が出来たら素晴らしいと思っています。

一般的に社会福祉協議会の役割は、関わる事が無いと見過ごしてしまう、近隣住宅との関係が希薄になりつつある最近の社会状況、その弊害が様々な形で表れています。

子育ての悩み、児童虐待、いじめや少年犯罪、高齢化社会に伴う一人暮らし、高齢者世帯等、生活を営んで行くうえで不安や多くの問題が出されています。このような社会の中でお互いに手を取り合って助け合えたら良いのではと活動しております。

小田地区の中では、民生委員、児童委員が中心となり月一度の子育てサロンを開催、楽しい子育てをとり組んでいます。

また小田地区社協では、町内会連合会と共同し小田地区全体（8町内会）で七〇歳以上の会員（本年度は四三〇〇人）を対象に敬老会を開催しています。町内会毎には一人暮らしの会食交流会や配食サービス等、参加者が生きがいを感じる事が出来るように見守りを兼ねて取り組みが行われています。このように社協の活動全般が地域全体の取り組みとしてさらに理解を深め、発展して行く事が出来たら素晴らしいと思っています。

「川崎区社協福祉まつり」開催報告

かわさきってどんな街？地域の福祉活動を知ろう！

「川崎区社協福祉まつり」を平成27年11月28日（土）川崎市教育文化会館にて開催し、晴天にも恵まれ当日は約1100名の来場者がありました。

今年度は名称を新たに、第1部社会福祉大会・第2部Ⅰ(あい)Ⅰ(あい)イベントと2部構成で行い、広く区民の方々への福祉啓発を目的としたイベントに生まれ変わりました。区内のボランティア・当事者団体・福祉関係施設、社会貢献活動を行う企業等56団体が参加、他多数の企業に協賛いただきました。

今年は小さなお子さまも楽しめる催しが増えたことにより家族での参加も多く、シールラリーやバルーンアート、キャラクターとの握手・撮影会などをきっかけに、各ブースも賑わい福祉を身近に感じていただく良い機会となりました。近隣から集まったイベントサポートボランティアにも活躍いただき、大盛況のうちに終了となりました。

エコバッグ塗り絵体験・折り紙でキャラクター作り♪ボランティアの活動を間近に見ながら楽しめるブース子どもから大人まで大人気でした！



子育て支援講座

☆地域で子育て☆

おやこヨガ



日時 平成28年2月17日[水]
10:00~11:30 (予定)

会場 かわさき老人福祉・地域交流センター
(川崎区堤根 34-15)

対象 区内在住 3ヶ月~1歳位までの
お子様のいる親子

定員 30組 (先着順)

申込み 電話・FAX・E-mailにて受付
2月12日[金] 申込み切(※必着)

申込み
問合せ

川崎区社会福祉協議会
電話 044-246-5500
FAX 044-211-8741
E-mail info@kawasakikushakyo.or.jp

福祉用具再利用 譲ります・譲ってください

介助式車いすを 譲ってください。

お譲りいただける方は、
川崎区社会福祉協議会
までご連絡ください。

044-246-5500



◇利用対象者…川崎区内に在住の方

譲りたい方

窓口、または当会ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し提出。提供する福祉用具の写真を持参または画像データを区社協のメールアドレス (info@kawasakikushakyo.or.jp) に添付します。所定の申込み用紙に物品の状態(使用回数等)を記載してください。(写真や画像の返却不可)

譲ってほしい方

窓口または当会ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、提出します。詳しくは、区社協ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/> または、川崎区社会福祉協議会 044-246-5500 まで!!

譲渡の手順 譲ってほしい方が譲ってくれる方に連絡し、詳細な情報をお聞きした後、条件があれば、用具を引き取りに行っていただきます。

ほほえみコーナー

寄付者名 (受付順)

平成 27 年 8 月 1 日 ~ 12 月 31 日

- 公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会
- 川崎消防団第五分団
- 小田若手連
- 大本山川崎大師平間寺
- 桜本二丁目青年会

川崎区社会福祉協議会 ホームページ更新中!!

講座等の開催案内、福祉用具「譲ります・譲ってください」情報掲示板、区社協や地域の福祉活動を紹介する「地域活動レポート」など、情報誌では伝えきれない情報をタイムリーに掲載して行きます!

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>

川崎区社協

検索

編集後記



ウェブを全面リニューアルして1年が経ちました。各地区社協の活動や地域の成り立ちの由来等各地区社協の特徴ある記事を取り上げましたが、次号からは特定のテーマに焦点化して、掘り下げを行うことに編集会議で決まりました。

委員会終了後1年間の労をねぎらい、今年を締めくくりました。

訂正

前号(94号)で掲載した大師第3地区社協の会食の写真が、他地区社協のものでした。間違いのありましたことを深くお詫び申し上げます。